

ふくろう通心

ヘアドネーションを知っていますか？

ヘアドネーションとは、けがや病気により頭髪を失った患者さん（主に子どもたち）にウィッグを提供するために髪の毛を寄付する活動です。日本では、NPO法人JHDAC（ジャーダック）など複数の団体が髪の毛の寄付を受け、必要な子ども自身に合わせたサイズのウィッグを作り提供する活動しています。

今回は、弘前で実際にヘアドネーションを体験した方にお話を伺いました。

★ヘアドネーションをやってみようと思ったきっかけは？

以前からカットする髪を見ては「もったいないな、なにかできないかな」と思っていました。雑誌か何かの記事で知り興味を持ち、行きつけの美容院に問合せし対応しているとのことだったので、やってみようと思いました。

★実際、どのように行われたのですか？

まず、寄付する髪は31cm以上必要とのことだったので、元々ロングでしたが更に1年間髪を伸ばしてから美容院に行きました。カラーもしていたし、特別な髪の手入れも何もしていませんでした。

当日は、数カ所に小分けした髪をゴムで結って、ゴムの上を一束ずつカットしたあとに全体を整えて終了となりました。いつものヘアカットより10分ほど時間が長かかったぐらいで、料金は通常のカット代と変わらず、カット後の髪の発送も美容院でやってくださり、私が負担になることは特にありませんでした。カットする前の写真を撮ってもらい、最初の一束を自分でカットさせてもらったりと今回のヘアドネーションの記念をつくり、気分をほぐして下さった美容院の心遣いに感謝しています。

★家族や友人など周りの人達の反応はどうでしたか？

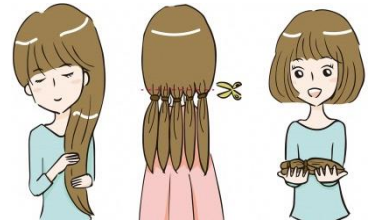
家族や周囲で話題にしたことで興味を持ってくれました。

★ヘアドネーションに興味を持った人につたえたいことは？

自分の髪が誰かを笑顔にする…と想像してみてください。何だか嬉しい気分になります。

「誰かの役に立つ」って難しいようで意外と自分にできることがあるんです。

弘前市内でも対応してくれる美容院が増えたので、まずは普段通ってるところへ確認してみるとよいと思います。



共に安心して暮らすことのできるまちの実現を目指して

市では、ろう者が安心して暮らせる地域社会の実現に向け、平成30年3月に「弘前市手話言語条例」を制定しました。この条例では、手話の普及と、ろう者があらゆる場面で手話による意思疎通ができ、自立した生活や地域における社会参加を保障するため、「手話への理解の促進および手話の普及を図るための施策」「市民が手話による意思疎通や情報を得る機会の拡大のための施策」「手話通訳者など手話による意思疎通支援者のための施策」など、必要な施策を講ずることを市の責務として定め、今まで以上にろう者が安心して暮らせるまちを目指しています。

条例制定以前より、市役所窓口到手話通訳員を2人配置するほか、手話奉仕員養成講座の実施や聴覚障がい者が官公庁等を訪問する際の手話通訳員の派遣などを実施し、手話の普及やろう者の意思疎通を図る機会の拡大に取り組んできていますが、条例制定に伴い、平成30年からは、定例記者会見や弘前さくらまつりの開会式などでも手話通訳を実施しております。

また、今年は新型コロナウイルス感染症の影響により中止になりましたが、「弘前さくらまつり」や「弘前ねぶたまつり」に観光で訪れたろう者を市内のろう者が手話で案内する「手話で楽しむ弘前観光ガイド」や、手話に興味のある市民とろう者の交流の場として「手話サロン」をろう者と共に実施し普及に努めています。

市が取り組む施策に加え、市民や事業者の皆さんのご理解とご協力をいただくことにより、将来的には、聴覚障がいのある人もそうでない人も共に安心して暮らすことのできるまちの実現を目指します。

弘前市役所 障がい福祉課





弘前ねむの会ファミリーコーラス
& ノーザンウイングによる手話つきのコーラス



華の会によるフラダンス



おはなしるんるん
によるおはなしは、
レモンの絵が動物
に変わったり、
びっくりの連続

発表

オカリナの演奏に始まり、わくわくするような仕掛け絵を使った子ども向けのお話の読み聞かせ、ここが雪国だということを忘れさせてくれるような赤や緑の鮮やかな衣装でのフラダンスや、手話を使ったコーラスなどが行われました。

子どもたちは、読み聞かせの絵がいきなり変わる様子に驚いたり、フラダンスや手話のダンスにあわせて一緒に体を動かしていました。



豪雪の雪かきの疲れもみせず、
実行委員長のあいさつで交流
まつりがスタートしました。



第9回

市民ボランティア交流まつり

令和2年2月9日、第9回市民ボランティア交流まつりがヒロロにおいて開催されました。

この交流まつりは、弘前市民参画センターに登録している団体や弘前市近郊のボランティア団体などが、日頃の活動の内容を発表したり、団体間での交流を行うために実施委員会となり開催しています。

第9回となる今年は、30の団体が参加しました。

「発表」「展示」「体験」「販売」の4つのコーナーで、日頃の活動の発表や展示をするほか製作物の販売や体験活動など、様々な活動の紹介がヒロロ3階のスペースいっぱいになり広がられました。

当日は、弘南鉄道も運転見合わせになるなど全国一位の降雪量と報道されましたが、無事多くの市民に参加していただきました。



販売

福祉施設で作られたパンや焼き菓子が並び、お客さんがおいしそうなお品々に目移りしながら選んでいる様子が印象的でした。



販売コーナーの
多種多様な焼き
菓子やパンと手
芸品



開会式の後、交流タイムのにぎやかな様子です



交流

来場者に、多くのブースを回っていただくために実施しているスタンプラリーは、普段、目にする事のない展示などをみていただくいい機会になりました。

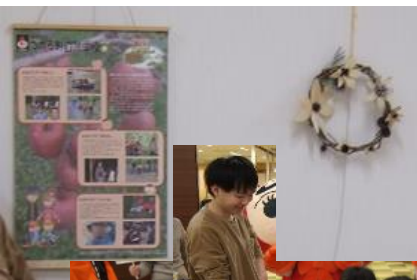
参加団体同士で名刺や活動紹介カードを交換し、新たなつながりができたり、新しい活動のきっかけにしようと、交流の機会をうまく活用している様子が見られました。



全日本写真連盟弘前支部の作品展示



弘前友の会 展示



つがる野自然学校の体験コーナー



HEP21 エコクラブの力作!



新日本婦人の会
あゆみ・美班絵手紙小組の絵手紙展示

1%システムなどの
弘前市の展示コーナーもありました

展示

展示は、日頃の活動の紹介や、活動の成果が分かるような美しい写真の展示や力作ぞろいの手芸品がならんでいました。

体験

体験コーナーではバルーンアートが子どもたちにとっても人気が高く、動物や花などのかわいい作品を求めて行列がいつもできていました。また、マッサージを気軽に体験できるコーナーも人気でした。自然のものを使った製作体験や楽しいゲームも子どもたちから年配の方まで目を輝かせて楽しんでいました。



わた帽子の会



あおもりアースレンジャーつがるの会



すてっぷ・すてっぷあっぷ・じゃんぷ の展示



ニッポオサークルによる展示

次回

限られた紙面では、すべての内容をお伝えすることができなかったのが残念です。

準備から片付けまで、団体の会員やボランティアスタッフで行う手作りのイベントです。楽しい交流や出会いが待っています。第10回は令和3年2月に実施の予定です。ぜひ、おいでください。

コンパニオンプランツ



気温も上昇し、暖かな日が続き、ご家庭でのプランター栽培や庭先の畑に精を出すかたも多いと思います。



植物にはそれぞれ特徴や影響があり、中には殺菌効果のある野菜や害虫を寄せ付けない効果がある植物もあります。この効果を利用し、お互いが共生しながら相乗効果のある植物の取り合わせは、「コンパニオンプランツ」とよばれています。

その一例としてはトマトにネギ。ネギには殺菌効果やセンチュウの被害を防ぐ効果があるので、トマトの土壌病害を防いでくれます。同じナス科の仲間であるピーマン等にも効果が期待できます。白菜やキャベツなどのアブラナ科に対して集まる害虫はキク科のにおいが嫌いなため、キク科であるレタスをあわせると効果があります。似たような形や用途なのに面白いですね。



野菜同士の組み合わせのみならず花にも効果があるものがいくつかあります。メジャーなところではマリーゴールドはその根からセンチュウ阻害物質が発生するのでセンチュウ被害を減らしてくれるほか、花に色々な昆虫を寄せ付けるため受粉の助けになったりもします。

その他の花ではクローバーはアザミウマをひきつけるため、バンカープラント(おとり役)として使える他、実はマメ科なのでそのまますきこんで緑肥として使用することもできます。マメ科には根に根粒菌という菌を繁殖させ窒素を土中に固定させ植物が取り込める形に変換しています。玉ねぎなどと合わせるとよいでしょう。

中には取り合わせの悪い作物もあり、大根とネギなどはネギの成分を嫌って大根が二股になったり、マリーゴールドに誘われたオオタバコガがピーマンを食べ始めたりすることもあります。これに関しては花の咲かないマリーゴールドもあるのでそちらを使うとよいと思います。

今まで興味を持たなかった人も自宅待機等でお暇な時間を庭いじりや植物との対話を楽しんでみてはいかがでしょうか？

ボランティアスタッフ：藤田祐平



弘前エール飯を 食べつくせ！！



TAKE OUT



食べつくす…は大袈裟ですが、思いは食べつくしたいです!! (笑)

お店の方の笑顔が見れて、いつもと違う味を楽しめて、その上堂々と家での家事が楽になり、一石三鳥。大変な時期に一生懸命に考えたメニューを一生懸命にいただきます!!

職場でまとめて注文(家族の分も)したり”win-win”な関係です。とは言っても、手抜きとは言わせないですよ~! 夕飯は、おかずだけチョイス。サラダ用の野菜はもちろん地元野菜を購入してお皿に飾りその上におかずをドーンと乗せれば、いつもよりお洒落でインスタ映えしそうなメインディッシュに早変わり。少しでもお店の方たちのお役に立てれば…そしてエール飯から私たちが元気になっていきます。

支度が短時間で済む分、家族で過ごす時間を大切にできました。



編集後記

今回、ヘッドネーション記事で初めてふくろう通心に参加させていただきました。

子どもの頃から剛毛だった私は、髪が薄いか髪が無いことにとんと無頓着でした。しかし年齢を重ねるうちに毛質は細くツヤも無くなり鏡の前でため息をついてばかり。そうやって初めて髪のありがたさに気づきました。加齢で髪が薄くなってもこんなに気になるのに、病気で髪が無いというのはどれほど気がふさぐことか。ましてやおしゃれを楽しみたい若い人だとなおさらです。そういった人たちにウィッグを贈るための髪の毛の提供というボランティアをもっとたくさんの人に知ってほしいと強く思いました。

對馬れいこ



<制作>市民ボランティアスタッフ
<制作協力>弘前市ボランティア支援センター
〒036-8003 弘前市大字駅前町9番地20 ヒロロ3F 弘前市民参画センター内
TEL:38-5595 FAX:36-1822
HP:www.city.hirosaki.aomori.jp/volunteershien/
情報紙についての意見・感想をお待ちしております。